

第428号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 敗戦から学ぶ



カット：本多紘子

九月は秋のお彼岸月です。お盆が過ぎれば秋の気配を感じたものですが、近年は地球温暖化の影響で九月一杯まで猛暑が続き、「暑さ寒さも彼岸まで」という諺が、死語になりつつあります。猛暑や炎暑による熱中症に気をつけながら、日々を大切に歩みたいですね。

八月の猛暑で北海道が摂氏40度の気温で農作物が高温障害で不作となったり、東北地方が台風による大水で川が氾濫したり、九州地方でも線状降水帯が発生して川が氾濫し床上浸水をした地域もあり、地球温暖化による災害の怖さに慄然とします。

暑くても、夏休みになれば中学生や高校生のスポーツ全国大会が開催されますが、グラウンドでの競技だけでなく、室内の体育館での競技をする選手達も熱中症対策を真剣に取り組んで欲しいものです。

第107回全国高校野球選手権大会も8月23日午前10時より、沖縄県の沖縄尚学高校と西東京の日大三高校との決勝戦があり、沖縄県の沖縄尚学高校が3対1で勝利し、夏の大会で初優勝を遂げました。両チームとも高校生らしい鋭刺とした真剣なプレイと、最後まで諦めない正々堂々とした闘いに、愚僧も感動しました。暑いときの熱い闘いですが、敗戦で流したチームの涙こそ大切な宝のように感じます。

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

日本は戦後80年を迎えましたが、世界では各地で紛争が続いています。3年前からロシアによるウクライナ侵攻や数年前からイスラエルとハマスによる中東「ガザ」などでも戦闘が続き、パレスチナ人が住居を失い食料不足で餓死者も出ています。世界の警察の役目をしていたアメリカも国力が衰え、自国の利益第一を掲げ、他国の争いに本気で調停をしなくなりました。便利な世の中になり、世界の国が経済的に結ばれ、持ちつ持たれつで助け合い支え合いながら暮らさなければならぬ現代世界は、戦争や戦いをしていない暇はないと愚僧は思っています。あなたが戦争についてどう思われますか。

浄土三部経の『大無量寿経』に「兵戈無用」という有名な言葉が出てきます。「仏様が衆生を導くために歩まれるところの、あらゆる国や村の人々はみな、その教えに導かれていき、人々の心は豊かで安らかと成り、兵戈（兵士や武器）を全く必要としない」とあり、お互いの良いところを生かし、誤解を少なくして、助け合い、支え合って、人々を敬い、慈しむ心には「兵戈無用」となるのです。

米国のトランプ大統領が「アメリカン ファースト」と言って自国の利益を一番に追求すると言って、他国に高い関税をかけて輸入を少なくし、自国の産業を復活させようとしています。そのことは良く理解出来ませんが、あまりに急激に自国の利益だけを追求するのは、世界を混乱させるだけで無く、自国も混乱します。自分の利益だけを追求する人のことを、仏教では「我利我利者」と呼びます。我が利益だけを追求する人は、人の心を失った心無き人という意味です。

近年、特殊詐欺が増えているのは悲しいですね。イツワリとウソ、ゴマカシとデタラメはかつて明確に区別されていたと民俗学者の柳田国男氏は言う。一方は人を欺く虚言、もう一方は空言だ。特殊詐欺はイツワリとゴマカシの虚言であり、子供の無邪気な作り話はウソとデタラメの空言。子供の無邪気な作り話は智慧の冒険だが、大人の特特殊詐欺のイツワリとゴマカシの行為は犯罪なのだ。合掌（奥原 曇龍）

『イツワリとゴマカシだらけの特殊詐欺 地獄に落ちる鬼畜の行為』 どんりゅう



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・九月 十一日（木）・午前十時から十二時まで。  
十月 十六日（木）・午後一時半から四時まで。  
場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



# お釈迦様ものがたり 107

お釈迦様はボーガ城の町の鍛冶屋チユンダの家に招待され、説法をします。翌日に食事の招待をされ、スーカラマツダリ(干した豚肉、これは茸のことでもあるという)という御馳走がでます。お釈迦様は、この御馳走は自分以外は消化することが出来ない、比丘(僧侶)たちには食べさせなかつた。

食事が終わると、お釈迦様はチユンダのために説法をされましたが、その際にチユンダは、今後いかなるシヤモン(沙門)を真のシヤモンとして尊敬し供養すべきかを判定する標準を知りたいと言ふことを察知し、シヤモンの説明をします。

お釈迦様は、世間には四種のシヤモンがあると説かれました。四種とは勝道、説道、活道、汚道の四つを指すのであつて、第一の勝道シヤモンとは、自ら正しい修行をなし見惑修惑のあらゆる煩惱を断じて、最高聖者、世間の真の指導者となつた者である。第二の説道シヤモンとは、仏教の正しい世界観・人生感を確立し、人々に教えを説く人々である。第三の活道シヤモンとは、仏教の正しい教説に親しみ仏道の中に生活をなす人々である。第四の汚道シヤモンとは、外形ではまじめなシヤモンのふりをなして殊勝げに振る舞つて、在家からの供養をむさぼつて、仏法を汚す人々である。この説法によつて、チユンダが大いに喜び、信心をいっそう深めます。

お釈迦様は鍛冶師チユンダの家を辞し、クシナーラーに向かつて出発されたが、やがてお釈迦様に激しい痢病が起りました。生来お釈迦様は胃腸が弱かつた上に、消化不良の食物を食べられたので、それがいけなかつたのであろう。痛みと疲れのために、お釈迦様はアーナンダに命じて、路傍の一樹下に、上着を四つ折りにして座られます。下痢のために動けなくなつたのです。合掌(奥原曇龍)

お釈迦様は、世間には四種のシヤモンがあると説かれました。四種とは勝道、説道、活道、汚道の四つを指すのであつて、第一の勝道シヤモンとは、自ら正しい修行をなし見惑修惑のあらゆる煩惱を断じて、最高聖者、世間の真の指導者となつた者である。第二の説道シヤモンとは、仏教の正しい世界観・人生感を確立し、人々に教えを説く人々である。第三の活道シヤモンとは、仏教の正しい教説に親しみ仏道の中に生活をなす人々である。第四の汚道シヤモンとは、外形ではまじめなシヤモンのふりをなして殊勝げに振る舞つて、在家からの供養をむさぼつて、仏法を汚す人々である。この説法によつて、チユンダが大いに喜び、信心をいっそう深めます。

秋暑し山門の前に彼岸花

お経の声に鈴虫リーンリーン

田辺多恵子



8月14日 お盆合同法要

## ともしび法話

9月は秋の彼岸月。「暑さ寒さも彼岸まで」という諺がありますが、近年は彼岸になつても真夏の猛暑で驚きます。皆様方お元氣でお過ごしでしょうか。

私も8月1日に第二子である男の子が生まれ、養生しています。お寺の方に早く復帰して、皆様のお顔が見たいです。合掌 心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

曇龍先生、坊守の綾様、いつもお世話になり有り難うございます。8月1日に綾様に第二子である男子が生まれ、お目出度うございます。又、お顔を見せて下さい。 倉敷市中帯江 山形田鶴子様

猛暑の夏が秋まで続きうんざりですね。秋のお彼岸参りも曇龍先生頑張つて下さることを願います。綾様も第二子が誕生しお目出度うございます。またお寺で！ 倉敷市早高 養田れい子

9月23日(火)午前10時半から秋のお彼岸合同法要をお寺の本堂で開催させていただきます。皆様方、気軽にご参加下さい。 心光寺総代長 本家 豊彦

## ともしび説法

日時・九月 十一日(木)・午前10時から12時まで。  
十月 十六日(木)・午後一時半から四時まで。  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

十一月 三日(月)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

秋の報恩講法要・永代経 儀式・仏教講演

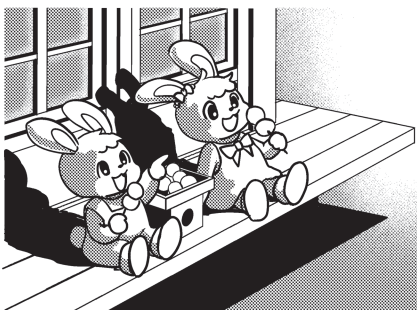
十二月 十八日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆『ともしび』を、平成27〜29年、平成30〜令和2年、令和3年〜令和5年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となつて、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生をふり返れます。まとめた本が欲しい方は実費でお分けします。



## いづるの詩

秋のお彼岸月が来たよ  
染あれば苦ありと言うけれど  
凜々として生きるの難しい  
ルンルン気分が抜けない若者よ  
礼儀を欠きながら  
祿でなしと言われても  
自分らしく堂々と生きる



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

- 倉敷市 新田武子様 5千円 大野和子様 5千円と切手3千254円
- 倉敷市 藤原力様 樋口貴代美様 毛利敦子様 山形田鶴子様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「428号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。9月11日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に9時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦